



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ：<http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

# 済生会

わかやま

# NEWS

第8号

発行日：2006.5

## ～患者様の権利～

- 1、患者様は、平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
- 2、患者様は、医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
- 3、患者様は、検査・治療等に際してそれを受けることを自己の判断のもと承諾あるいは拒否する権利があります。
- 4、患者様は、医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
- 5、患者様は、自己の病状についての情報を得る権利があります。
- 6、患者様は、自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。

## — Information —

4月1日から平成18年度診療報酬改定が実施されました。

現在の医療費は約30兆円といわれています。このまま進めば、2025年には56兆円になると推測されています。これは対国民所得比10.5%に相当します。

厚生労働省はこの医療費の膨張を抑えるため、医療制度改革大綱を取りまとめ平成18年度の予算案の編成課程において、賃金・物価の動向等並びに保険財政の状況を踏まえ、診療報酬本体の改定で▲1.36%、薬価等の改定で▲1.8%、合計▲3.16%の診療報酬改定を行いました。今回の改定率は、診療報酬始まって以来最大の引き下げ幅の改定となりました。今回の改定を含め、過去3回の診療報酬改定は実質マイナス改定でした。しかし今後も、医療費の適正化を図るためと、70歳以上の現役並み所得者に対する3割負担への引き上げ、現役並み所得者の拡大、現役並み所得のない70歳から74歳までの窓口負担2割への引き上げ、医療型療養病床に入院する70歳以上の高齢者の食費・住居費の全額負担等々が現実となってきます。医療費の適正化といいながら患者負担の増加により医療費の減額を考えているようです。

又、家庭の事情により長期入院を続ける社会的入院を減らすため、2011年度末までに介護型療養病床13万床の全廃。医療型療養病床25万床を15万床に削減する方針も固めており先行き不安が残ります。

今回の改訂は▲3.16%と未曾有の引き下げとなり、とうてい小手先で穴埋めできる減収ではなく、病院の存続をも念頭に入れた対応が必要となります。今後、期待される法改正は望めません。法改正に影響されないために機能と特性を明確にし、身の丈にあった病院づくりが必要となります。平成15年の移転を契機に掲げた、理念・基本方針に沿って「救急医療の充実・地域連携の拡充・安全な医療の提供」を目指し、当たり前前のできる病院にしたいと思えます。

これからも皆様方から愛される病院づくりに努めて参ります。皆様のご支援をお願いいたします。



事務長 竹田 正

## 新しいステント（薬剤溶出ステント）を用いた狭心症治療

副院長 山本 勝廣

1977年に始まったバルーンによる冠動脈インターベンション（PCI）の最大の問題点は、急性冠閉塞と再狭窄であった。1980年代後半に開発された冠動脈ステントは、急性冠閉塞を防止するだけでなく再狭窄も予防することが証明された。一般的に従来のステントの再狭窄率は20～30%と言われているが、糖尿病などを背景としたびまん性病変や小血管病変、慢性完全閉塞病変などの複雑病変においては、ステントを使用しても40～60%の高い再狭窄率が報告され、依然として大きな課題が残っていた。2004年8月から我が国においても薬剤溶出ステント（Cypherステント）が使用可能となり、ステントに塗った薬が血管にしみ出し、細胞増殖を抑える。その結果、欧米のデータでは再狭窄率が数%と驚異的に低く、複雑病変でも有効で再狭窄の問題が克服されつつある。当科においても当初からCypherステントを使用し、6ヶ月



後に再冠動脈造影で確認できた105病変の再狭窄率は7.3%と低く、従来のステントの再狭窄率（平成15年度）28.7%と比較すると非常に良好な成績を得ている。抗血小板剤を長期間服用する必要性や慢性期の成績はこれからの課題である。しかし、冠動脈バイパス手術（CABG）との比較においても、従来、糖尿病患者はPCIよりCABGの方が優れていると言われてきたが、薬剤溶出ステントを用いたPCIはCABGと同等であることが示されつつある。複雑病変のみでなく低左室機能例にも、今後PCIの適応が拡大されると予想される。

## 3階東病棟のご紹介

看護師長 廣瀬 朱実

3東病棟は、看護師長1名、副主任1名、看護師14名、准看護師1名、看護助手1名の計18名で脳神経外科、糖尿病代謝内科、耳鼻咽喉科の患者様の看護をおこなっています。

脳神経外科は当院移転時に開設された診療科で、高齢社会を反映して高齢の脳卒中患者様が多く入院されています。移転当初は片麻痺や高次脳機能障害などを有する患者様に対する看護について戸惑うこともありましたが、先生方の指導や「一例に学ぶ」式の勉強会を重ねることにより「3東病棟のブレイン・ナーシング」が出来るようになってきています。

糖尿病代謝内科には糖尿病を中心に各種疾患の患者様が入院し、特に糖尿病患者様にはクリニカルパスを使用して均一な糖尿病療養指導をおこなっています。また、他疾患で入院された患者様でも糖尿病を合併していることも多く、入院期間中に原疾患と共に治療をされる症例も増えています。

耳鼻咽喉科では眩暈や急性感染症をはじめとして、鼻内視鏡手術なども行なっています。最近では睡眠時無呼吸症候群の検査入院も増えています。

入院患者様のほとんどが高齢者（耳鼻科では2歳ぐらいの幼児や学童もいますが）や認知症、見当識障害の方で、また混合病棟である事から医療安全を第1に考えて看護しています。これからも患者様の信頼に答えられるようがんばっていきたく思いますので、今後とも宜しくお願いします。



## 情報管理課のご紹介

情報管理課長 中村 勇治

情報管理課は、医療IT管理および診療情報管理を4名のスタッフで担当しています。

当院は、移転を機に、オーダリングを導入しました。その後電子カルテシステムを順次稼働拡大させ、昨年12月からカルテペーパーレス運用を開始しました。現在では、カルテ、看護記録用紙が電子化されており、院内の全端末機（156台）で、患者様の医療情報（紹介状から、外来診療情報、入院診療情報、退院サマリまで）の検索・書き込みが可能です。また、院内には無線LANが敷設され、無線端末から、病室などでの入力も可能となっています。診療に要した医事コストは、医事システム（オーダリングシステムと連携接続）で、速やかに計算されます。支払いは、現金清算機での取扱いも可能です。

当院には、電子カルテのLANと別に切り離されたインターネットLANがあり、これの管理も当課の重要な仕事です。職員のインターネットからの情報入手、メール交換サポート、情報漏えい防止、セキュリティ管理を行っています。

今は、当院の電子カルテシステムは、インターネットから隔離した運用をおこなっておりますが、近い将来、外部医療機関・診療所とネットワーク接続され、医療情報の交換がおこなわれる日も来ると言われております。このテーマへの取り組みも当課の課題です。

一方で、診療情報管理としては、個人情報管理（情報開示対応、漏えい防止）、退院サマリ管理・分析、紙情報（診療情報提供書、診断書等）のスキヤナー読み、X-Pフィルム、紙現物の保管・管理も担当しています。



## 地域医療連携室から

地域医療連携室 主任 上野山 勝代  
森 智美

地域医療連携室では平成18年4月1日よりMSW（メディカルソーシャルワーカー）担当職員を増員しました。まだまだ未熟ですが地域医療機関の先生方との連携をより一層深め、お役にたてるよう努力してまいります。



### 新スタッフ名

力津 昌弘 です。  
今後とも宜しく  
お願い致します。

### 【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成17年12月…152件 平成18年1月…176件 2月…186件 3月…206件  
のご利用頂きありがとうございました。

## 辻岡医院 辻岡 悦二先生

私は、昭和47年に和歌山県立医大を卒業し、2年間の研修医の後、昭和49年に井関良夫名誉院長と共に済生会和歌山病院に勤務させていただきました。

一時、和医大第三内科に戻りましたが、再び済生会和歌山病院で、計約5年間勤務させていただきました。当時は現在の様に専門科はなく内科全般を担当し、井関先生のご指導を受け、多くのことを学ばせていただきました。

昭和59年小倉地区に開業し、地域の医療機関として、内科・小児科全般を対象としています。毎日赤ちゃんからお年寄りまで、多くの患者さんに接していますが、機を逃さず、専門病院へ紹介することを心がけております。いつも済生会和歌山病院・地域医療連携室にご無理申し上げております。又、症例検討会や先生からの詳細な御返事より、新しい医療知識を習得させていただいております。

今後共、病診連携を深めて、地域医療に貢献したいと思っております。よろしくお願い致します。



# 済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成18年4月1日より)

	内科・糖尿病代謝内科・消化器科			循環器	放射線	外科・心臓血管外科		整形外科		リハビリ テーション科	脳神経外科		耳鼻 咽喉科	腎センター	眼科	皮膚科
	2診	3診	4診			9診	8診	13診	14診		7診	8診				
月	午前 山原邦浩	佐藤晋一	井関良夫	木村桂三	—	重里政信	—	松崎交作	山崎 悟	担当医	林 靖二	—	上野ゆみ	松尾恒久 梓谷ゆり	担当医	山本有紀
火	午前 文野真樹	江川公浩		山本勝廣	—	駒井宏好	高垣有作	本田高幹	西山大介	担当医	仲 寛	—	上野ゆみ	松尾恒久 梓谷ゆり	小田盛司	—
水	午前 山原邦浩	川口雅功	荒古道子	尾鼻正弘	野村尚三	重里政信	—	新患診		西田秀樹	乾 芳郎	—	森山智美	松尾恒久 梓谷ゆり	—	—
木	午前 文野真樹	江川公浩	井関良夫	木村桂三	—	駒井宏好	—	松崎交作	本田高幹	担当医	仲 寛	林 靖二	上野ゆみ	松尾恒久 梓谷ゆり	住岡孝吉	岡本勝行
金	午前 川口雅功	佐藤晋一	荒古道子	山本勝廣	—	中村恭子	柴田正幸	山崎 悟	西山大介	担当医	中川真里	—	上野ゆみ	松尾恒久 梓谷ゆり	宮崎賢一	—

※内科 井関 (一般)  
江川 (糖尿病・代謝)  
荒古 (糖尿病・代謝)  
佐藤 (糖尿病・代謝)

川口 (肝/消化器)  
文野 (肝/消化器)  
山原 (肝/消化器)

\*眼科月曜担当医  
芦田 敦  
藤田恭子

【受付時間】 午前 (全科) 8時45分～11時00分  
\*土曜日は休診となりましたのでご注意ください。

## 肝臓病教室

日 程：毎月第3土曜日10：30より (変更の場合あり)  
場 所：済生会和歌山病院7階多目的ホール  
注) どなたでも参加可能です 参加費無料

## 糖尿病教室

日 程：毎月第3水曜日14：00より (変更の場合あり)  
場 所：済生会和歌山病院7階 多目的ホール  
注) 当院通院中・紹介患者様のみ参加可能です

## 研 修 会

### ●第25回和歌山和歌山東臨床研究会●

日 時：2006年5月13日 (土) 午後3時～5時  
場 所：済生会和歌山病院 講堂 (7階)

#### 演 題

1. 喀血及び消化器系疾患による出血に対する塞栓術について
2. 自作フードを接合した気管支鏡を使用して  
摘出に成功した気管支異物の1例
3. 意識障害にて救急受診した低血糖昏睡の高齢者例
4. 脳塞栓症のいろいろ
5. 進行胃癌の一例

野村 尚三 (放射線科)  
中村 恭子 (外科)  
佐藤 晋一 (糖尿病代謝内科)  
乾 芳郎 (脳神経外科)  
山原 邦浩 (消化器科)

参加ご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい



## 診 療 案 内

診 察 日：月～金曜日  
受 付 時 間：午前8時45分～午前11時 (但し、予約患者様はこの限りにあらず)  
休 診 日：土・日・祝祭日 (年末年始)  
面 会 時 間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



## 交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

## 地 域 医 療 連 携 室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187